

# ◇ 国 語

国 5-1～国 5-16 まで 16 ページあります。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

三島由紀夫は、一九七〇年（昭和四十五）十一月二十五日、市ヶ谷の陸上自衛隊駐屯地において、割腹自殺を遂げた。

戦後の文壇にあつて、つねにスター的存在として活躍してきた三島の自死は、日本中に深いシ<sup>A</sup>ョウゲキを与えた。自衛隊員に向かつて憲法改正のために立ち上がれと檄<sup>（二）げき</sup>を飛ばし、日本の古来の作法にしたがつて切腹し介<sup>（一）けい</sup>錯<sup>（三）さく</sup>を受けた、その死は、ノーベル文学賞候補としてその名があがつていた世界へもニュースとして伝えられた。

『豊饒<sup>（一）ほうじょう</sup>の海』全四巻の最終稿は、その日の朝に、新潮社の編集者の手にわたったものであったという。つまり、このライフワークの完結は、そのまま作家自身の死を意味していた。四十歳から四十五歳まで、その早すぎる晩年の五年の歳月のなかで、三島由紀夫は精魂<sup>（二）しんこん</sup>をかたむけて、この大長編に取りくんたのである。第一巻『春の雪』、第二巻『奔馬』が刊行されたとき、三島の尊敬する先輩作家であり、またノーベル文学賞を競うことにもなった川端康成が、『豊饒の海』は『源氏物語』以来の傑作である、といったのもうなずける。

三島は、このライフワークを、自分が小説家になつて以来考えつづけてきた「世界解釈の小説」であると語っていた。

では、作家はどんな理念によつて、世界をとらえようと試みたのか。そこには、いかなる世界像が描き出されたのか。

まず、『豊饒の海』は、生まれ変わりの物語として構想されている。転生の夢である。具体的には、日本の古典文学のひとつ『浜松中納言物語』が典拠とされている。夢によつて、亡父が唐（中国）の皇子に転生していると知った主人公の中納言が渡唐するこの物語について、三島は次のようにいつている。

もし夢が現実に行先するものならば、我々が現実と呼ぶもののほうが不現実であり、アの現実というものが存在しないならば、転生のほうが自然である、と云つた考え方に貫かれている。それほど作者の目には、現実が稀薄<sup>（一）きはく</sup>に見えていたにちがいない。そして現実が稀薄に見えだすという体験は、いわば実存的な体験であつて、われわれが一見荒唐無稽<sup>（二）むげい</sup>なこの物

語に共感を抱くとすれば、正に、われわれも亦、また確乎不動かっくふの現実に自足することのできない時代に生きていることを、自ら発見しているのである。

(「夢と転生」)

この世界が、現実が「稀薄に見え」ということは、三島由紀夫にとって「昭和二十年八月十五日」以降の「戦後」が、それこそリアリティを欠いた、「確乎不動」の現実を持ちえぬ「**イ**」にほかならなかつたということであろう。

『豊饒の海』の最終巻の冒頭をかざる、五月の駿河湾の海の描写は、一卷から展開されてきた転生の、四人目の主人公の少年(四)・安永透やすながとおるの目を通した風景であるが、そこに映し出される海は、さながら夢のごとき、奇妙なまでに色彩と質感を欠いた稀薄な「現実」なのである。

その描写のなかの、次のような一節は、注『天人五衰』のラストを予感させるだけでなく、『豊饒の海』という日露戦争以後の近代日本の歴史時間の現実そのものが、どこかで空無と化していくような印象を与えずにはおかない。

海、名のないもの。地中海であれ、日本海であれ、目前の駿河湾であれ、海としか名付けようもないもので辛うじてトウカBツされながら、決してその名に服しない、この無名の、この豊かな、絶対の無政府主義アナーキィ。

そもそも『豊饒の海』というタイトル自体が、ひとつの逆説を孕はらんでいる。すなわち、それは空気も水も無いカラカラの砂漠の、月の海の名前からとられているというのである。ニヒリズム(虚無主義)を、おのれの内に烈はげしくかかえこんで戦後という時代をシツソウした三島は、この作品にすべてを注ぎこんだといってもいいだろう。各巻のカレイDな文体と、その変奏のなかに、読者は天才作家のこの刻印をまざまざと見ることができぬ。

(中略)

『豊饒の海』の最後は、昭和五十年の夏頃に設定されている。この巻は、作者によれば、「書かれるべき時点のジシEョウをふんだんに取込んだ追跡小説」(『豊饒の海』について)ということ、完成予定は昭和四十六年の末だったという。

作家の自決によって完成が早まったともいえるが、興味深いことには、作者の死後の時間もすでに作品世界が「取込ん」でいる。

三島由紀夫は、自らの死をもふくめて、この『豊饒の海』全四巻を ウ にたくしたのである。その死後、およそ三十七年の歳月を経ているが、その存在は、今日もなお彼の遺した文学作品とともに人々の関心を引きつけてやまない。『豊饒の海』は、そのような三島文学の頂点にあつて、不思議な輝きを発し続けている。

富岡 幸一郎 「三島由紀夫『豊饒の海』」 「名作はこのように始まるⅡ」 所収

注 『天人五衰』 …… 『豊饒の海』第四巻の巻名

問一 傍線部A・B・C・D・Eと同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

A ショウゲキ

- ① 言葉のショウヘキ
- ② ショウジュンを合わす
- ③ 取引先とのセツショウ
- ④ ボウショウをかためる
- ⑤ ショウソウ感にかられる

1

B トウカツ

- ① シュウトウな計画を立てる
- ② 前例をトウシユウする
- ③ 高層ビルがトウカイする
- ④ 彼にはトウソツ力がある
- ⑤ 師のクントウを受ける

2

C シツソウ

- ① シツショウを買う
- ② 心臓シツカンを患う
- ③ 小説をシツピツする
- ④ 生徒をシツセキする
- ⑤ シツブ薬を塗る

3

D カレイ

- ① タンレイな顔立ち
- ② トクレイの扱い
- ③ ヘンレイ金を受け取る
- ④ レイホウにかなう
- ⑤ 貯蓄をレイコウする

4

E ジシヨウ

- ① 左右タイシヨウの図柄
- ② 子供タイシヨウの番組
- ③ タイシヨウさせて考える
- ④ 戦いにタイシヨウする
- ⑤ 砂漠でタイシヨウに出会う

5

問二 空欄  ・  ・  に入る語句として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

① 絶体絶命 ② 恒久不変 ③ 五里霧中 ④ 日日是好

① 物語 ② 不幸 ③ 混乱 ④ 時代

① 未来の読者 ② 世界の知識層 ③ 文学を志す仲間 ④ 自衛隊の若き人々

問三 傍線部 (一)・(二)・(三) の意味として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(一) 「檄を飛ば(す)」

- ① 大声を張り上げてわめくこと
- ② 泡を飛ばして訴えかけること
- ③ 激昂げきごうのあまり腕を振り回すこと
- ④ 信義を述べて決起をうながすこと

(二) 「精魂をかたむけ(る)」

- ① 熱心のあまり健康を害すること
- ② 心身の力と根気を振り絞って集中すること
- ③ 熱中しすぎて精神的に不安定になること
- ④ 神仏に祈願して一心に精進すること

(三) 「荒唐無稽」

11

- ① 荒っぽいこと
- ② 滑稽なこと
- ③ でたらめなこと
- ④ どうでもよいこと

問四 川端康成の小説の題名を、次の①～④の中から一つ選べ。

12

- ① 『いころ』
- ② 『雪国』
- ③ 『金閣寺』
- ④ 『高瀬舟』

問五 三島由紀夫は『浜松中納言物語』についてどのように考えていたか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

13

- ① 『浜松中納言物語』が描く壮大で雅な古の世界に魅了された三島は、物語の設定を現代に移し変えて、自己流に書き直そうと考えた。
- ② 三島が最も描きたかった小説世界の構想および世界観に近いものを『浜松中納言物語』に見出して、大いに共感して、その枠組みを借りようと考えた。
- ③ 『浜松中納言物語』は平安朝の作品ながら「転生」という現代にも通じる手法を用いており、現代作家も古典から学ぶべきことは多いと考えた。
- ④ 古典文学に造詣の深かった三島は、あまり有名でない『浜松中納言物語』を見出し、世間に広く紹介する意図で自作に取り入れようと考えた。

問六 傍線部(四)「主人公の少年・安永透の目を通した風景」とあるが、彼の目に映った風景にはどのような意味が付与されているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

14

- ①透の眼前に広がる駿河湾の海の、夢のように捉えどころのない**茫漠**とした光景は、戦後日本の混乱した政治すなわち無政府主義の象徴として描かれているのである。
- ②透は駿河湾を見ながら、「海」を他所の海と区別して名づけることは無意味であると感じているが、そこから「海」のみならず、すべての実在に、命名は不可能だと気づかされるのである。
- ③透が見つめる「海」は、駿河湾という狭く限定された海ではなく、日本海や地中海にも広がってゆく果てしない空間であり、まさに『豊饒の海』なのである。
- ④透の眼前に広がる「海」は、その名称で呼ばれはするが、実はどのような言葉によっても表すことは出来ない存在であり、それはつかみどころのない「現実」の形象なのである。

問七 傍線部(五)「タイトル自体が、ひとつの逆説を孕んでいる」とあるが、この小説のタイトルの説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

15

- ①一見すると、あたかも地上の海を意味しているように、読者に錯覚させながら、実は月の海であるという意外性をこめたタイトルである。
- ②水のない海という月面の海の名称を知っていて、小説の題に用いたというところに、三島由紀夫の知識の豊富さと、卓越したセンスが光るタイトルである。
- ③物語の舞台は日本であるが、月の海の名称という宇宙的なタイトルを用いたことには、ノーベル賞を意識して世界文学であらうとした自負心がこめられている。
- ④「豊饒の海」が、「豊饒」の意味とは反対の実態を持つ月の「水も空気もない」海の名称であることから、タイトルは豊饒であると同時に虚無的な現実世界を暗示している。



第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

情報というのは、具体的なものほど価値があるように見える。何故なら、すぐにそれが使えるからだ。たとえば、「大志を抱け」という抽象的なアドバイスにわざわざ金を払う人はいないのに、「ある店で時間限定で食べられる、こんな料理が美味しい」という具体的なものになると、ついつられてしまふし、そんな情報を集めた雑誌や本を買ってしまう。情報は買うものではない、と考えている人もいて、本人は「情報は無料であるべきだ」と思っているのかもしれない。しかし、情報につられてその店の料理を食べれば、これは無料ではない。それで商売をしたい人は、無料の情報、すなわち「宣伝」をする。世に広まる情報の九割以上は、僕は宣伝だと認識している。

マスコミの報道も、今やほとんどが、なにがしかの宣伝になってしまった。少なくとも、僕が子供の頃の報道よりも、その割合が多い（倍以上だろう）。公平な報道に見えるものでも、またマスコミ自身が公平だと信じているものでさえ、結局は誰かの商売を助けるものになっていて、儲かる本人が情報の発信源である場合が大多数である。客観的な情報というものは、現代では得ることが極めて困難だ、と認識すべきだろう。

どうしてこんなことになるのか、少し考えてみれば簡単な道理である。そもそも正しい情報を得るためには労力が必要であり、それなりに費用がかかる。したがって、そんな真実の報道が無料で配信されるとしたら、名誉欲（目立ちたい、人気者になりたい）か犠牲的精神のいずれかによる。名誉欲は、発信者の利益になるので除外すると、結局は、犠牲的精神という、絶滅種のよくな少数しか残らないだろう。客観的に見ればそういう道理になる。だから、無料で配信されているものの大部分は、それだけの対価が得られる何者かが流している、と考えた方が無難だ。

かつては、ニュースの記事は記者が察知し、調べに書いていたものだったが、今では、情報を発表する場所へ記者が集められ、「はい、情報はこのとおりです」と配布されるコンテンツをそのままニュースにしているだけである。TVや新聞のニュースを見て、「どこも同じだな」と感じるのは、当然だ。現代の報道を「なんか偏っているな」と感じる人は、ものごとをあ

程度抽象化し、客観的に世間というものを捉えている証拠で、そういう人の目には、「変だな」と映るはずである。

しかし、若い人たちは、生まれたときから情報の渦の中にいる。昔に比べて今の若者は、与えられた情報にどっぷり支配されている。そうしないと、「空気が読めない」奴だと言われ、また人と違っていると「いじめられる」ことになる。少し客観的で優れた指摘をすると、「上から目線だ」と意味もなく嫌われる。僕などは、「そんなつまらない空気なんか読むな」「少しくらい上から目線を持つてはどうか」と言いたい。

若者たちは、自分の価値判断というものは二の次で、とにかくまずは世間の流れに乗ろう、と必死なのだ。その世間の流れというのは、なんのことはない、塵のように瑣末で具体的な情報であって、なにかがダイエットに効くと聞いて、それを買って走り、新しいゲームが出れば、遅れないように列に並んで購入する、といった具合に、毎日、TVやネットで流れているサイミン術のような「お告げ」に **ア** する忙しさの中、ただただ藻掻いているのである。

あたかも、そうすることでしか正常な人間関係が築けないと思ひ込まされている。年齢を重ねれば、だんだんその滑稽さがわかってくるのだが、気づいたときにはもう遅い、という悲劇もあるだろう。また、歳を取っても気づかず、ずっとそんな具体的な情報に流されたまま生きている人も沢山いる。気がつかない方が、幸せというものだろうか。

彼らの話を聞いてみるとわかる。もの凄くローカルで細かい情報をやり取りしているのだ。どの店で買えばポイントが溜まる、あの店は何時に行けば安くなる、といった情報が、自分の人生にとって大変に価値のあるものとして扱われている。そういう人ほど、他人の細かい悪口を言うし、誰と誰が付き合っているとか、あの人が着ていたものは安物だとか、そんな話しかない。ぼんやりと眺めると、具体的な細かい情報に飛びつき、それをそのまま横へ流しているだけの生き方に見える。

それでも、若いときには、本を読んだり、映画を観たり、ライブを聴きにいたり、美術館や博物館へ足を運んだりする人が比較的多い。そんなふうに分からアプローチした場合には、金や時間、労力がかかる代わりに、自分が感じたものを少しは真剣に考え、心に留めようとする。じっくり見るだろうし、集中して聴くだろう。言葉は悪いが、かけた金や時間の元を取ろうという気持ちも働く。

若者がこの種のものに興味を持つのは、「ただ世間に流されるばかりでは、自分というものの存在を感じられない」という イ な不安を抱いているからだ。そういった芸術などへの関心も、自分にとって将来「なにか使えるもの」になるのではないか、という予感を持つているためだ。自分の未来に対しても、「もつとなにか楽しくしたいな」と願っていたり、そうではなくても、できるだけ「美しいものとともにありたい」といった素直で抽象的な欲望を持っているからにほかならない。これは素晴らしいことだ。

歳を取ると、自分に無縁なものが増えてくるし、割り切れるようになる。そんなことに金をかけても、なんの足しにもならない(ならなかった)、と処理する。こうして、欲求はすべて小さな具体的なものばかりになり、予感や願望だけの「美しさ」は無益なものとしてハイジヨされる。ついには、もう毎日の自分の身の回りの損得しか考えなくなる。考えるというよりも、ただ「こつちが得だ」という選択をしているにすぎない。犬や猫でもできる判断と同レベルである。

こうなってしまった年寄り、ぼんやりと悩んでいる若者に対して、つい「はつきりしろ」「もつと具体的に」と言いたくなるはずだ。しかし、若者の「はつきりしない思考」というものは、とても価値があるものであって、それを失ったのが「年寄り」なのである。

「まだぼんやりしてろ」「もう少し抽象的に話してくれ」と若者に言える年寄りになりたいものである。

ただしかし、「なにか、面白いことがしたいな」とか、「ここらへんで、ちよつと大きなことがやりたい」と思うのは良いが、そういうことを人に話す場合は、できれば、限られた親しい少数だけにした方がケンメイ<sup>c</sup>だろう。というのは、こういう発言をする人間は、一般に信頼されないからだ。抽象的な思考というのは、あくまでも思考、つまり、考え方や見方であって、行動ではない。発言というのは、(抽象的な議論だと相手も理解している場合以外)既に行動なのである。

行動というものは、本来抽象的ではありえない。手足を動かして、掴めるものは、具体的な物体だけである。たとえば、「楽しいもの」というガイネン<sup>p</sup>を手で掴めるわけではない。そんな物体は存在しない。だから、「楽しいものがほしい」と思っても、そのままでは行動ができない。このとおり言葉にしても、無意味なのだ。

行動をするときには、自分の抽象的な思い、あるいはその思いの一部を、具体的なものを、すなわち、手が届く範囲に実在するものに関連づける思考が必要となる。この思考は、ウな計算に近いものになる。

自分の手が届く範囲にそういったもの、つまり「楽しさに繋がり<sup>つな</sup>そうなもの」が存在しない場合は、どうすればそれに近づけるのか、という方法を考え、ときには、調査や準備といった補助行動によってモサク<sup>E</sup>することにもなるだろう。<sup>(四)</sup>このプロセスでも、やはり発想が物事を前進させることが多く、そこではまた、抽象的思考が必要となる。

(森博嗣『人間はいろいろな問題についてどう考えていけば良いのか』による)

問一 傍線部A・B・C・D・Eと同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

A サイミン

- ① 民をキュウサイする
- ② サイジ記を見る
- ③ サイムを抱える
- ④ 総会をカイサイする
- ⑤ 投票によりサイケツする

16

B ハイジヨ

- ① ハイシン行為をする
- ② ハイセンを喫する
- ③ シュクハイを上げる
- ④ 有害なハイキガス
- ⑤ ハイクを詠む

17

C ケンメイ

- ① メイウンが尽きる
- ② ドウメイを結ぶ
- ③ 謎をカイメイする
- ④ メイアンを思い付く
- ⑤ 百家ソウメイの時代

18

D ガイネン

- ① キガイのある人
- ② 裏切りにフンガイする
- ③ 不正選挙をダンガイする
- ④ ガイトウ演説を行う
- ⑤ 不幸なキョウガイ

19

E モサク

- ① 裏でカクサクする
- ② 雑誌のサクインを見る
- ③ 試行サクゴを繰り返し返す
- ④ データにサクイする
- ⑤ 労働者からサクシュする

20

問二 空欄 [ア]・[イ]・[ウ] に入る最も適當なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

[ア] ① 孤軍奮闘 ② 二律背反 ③ 右往左往 ④ 七転八倒  
2 1

[イ] ① 本能的 ② 客観的 ③ 絶望的 ④ 短絡的  
2 2

[ウ] ① 恣意的 ② 論理的 ③ 直接的 ④ 主観的  
2 3

問三 傍線部 (a)・(b) の意味として最も適當なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(a) 道理 ① 周知の常識 ② 出来事の背景 ③ 物事の筋道 ④ 道徳の実践  
2 4

(b) 瑣末 ① 数えきれないほど、多く存在するもの ② どこへでも飛び回る、流動的なもの ③ みすばらしく、みにくいもの ④ とるに足らない、ほんの小さなもの  
2 5

問四 傍線部(二)「マスコミの報道も、今やほとんどが、なにがしかの宣伝になってしまった」とは、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

26

- ① 昨今のマスコミでは、ニュースの報道がめっきり少なくなり、広告やコマースシャルなど何かを売り込む宣伝の量ばかりが増加しているということ
- ② 昨今のマスコミが報じる事柄は、記者が自ら調査して知り得たニュースがほとんどであり、それが記者の名誉を宣伝するものになっているということ
- ③ 昨今のマスコミの報道では、ニュースの記事自体が誰かの商売を助けるための情報になってしまっており、公平性が失われているということ
- ④ 昨今のマスコミは公平性のある情報を配信しているものの、それらは単なる宣伝にすぎないと誤解され、その内容が看過されがちであるということ

問五 傍線部(二)「その滑稽さがわかってくる」とは、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

27

- ① 「周囲からの孤立を恐れて世間の流れに振り回されることは、至極ばかばかしい」という真実におのずから気づくようになるということ
- ② 「自分の価値判断はさておき、世間の流れに同調しなければ正常な人間関係が築けない」という真実が理解できるようになるということ
- ③ 「世間の流れというのは、実は何の役にも立たない抽象的な情報でしかない」という真実が身をもって実感できるようになるということ
- ④ 「世間の流れに同調しているにもかかわらず、具体的な情報をつかみそこねてしまう」という真実を自然と意識するようになるということ

問六 傍線部(三)「若者の「はつきりしない思考」というのは、とても価値がある」とあるが、筆者がそう述べる理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

28

- ①「はつきりしない思考」にもとづく漠然とした願望を口に出すことで、若者は他者からの信頼を獲得し、生きる方向性を定められるようになるから
- ②「はつきりしない思考」は役に立たないもののようにでいて、実は若者が将来をよりよく生きようとするための主体的かつ素直な欲望であるから
- ③「はつきりしない思考」で脳の老化を防げることが科学的に証明されており、それを習慣化すると内面・外面ともに若さを保つことができるから
- ④「はつきりしない思考」は、具体的でつまらない損得勘定とは対極に位置するもので、それを大事にしさえすれば若者は必ず夢を実現できるから

問七 傍線部(四)「このプロセス」とあるが、それに該当する具体例として最もふさわしくないものを、次の①～④の中から一つ選べ。

29

- ①いつか外国に留学したいと考える中学生のAさんは、本屋に立ち寄った折、世界各国のガイドブックが置いてあるコーナーをのぞいてみた。
- ②下宿で自炊生活をしている大学生のBさんは、夕食にかかる費用を安く抑えようと考え、近所のスーパーのチラシを見比べてみた。
- ③おしゃれに興味がある高校生のCさんは、受験する大学を選ぶにあたり、ファッションビジネスに関わる資格がとれるところを探してみた。
- ④就職して一年目のDさんは、充実した余暇を過ごしたいと思い、会社帰りに立ち寄れるスポーツクラブの様子を見学に行ってみた。



問八 本文の内容と合致するものを、次の①～④の中から一つ選べ。

30

- ①現代の若者たちは、膨大な情報に翻弄<sup>ほんろう</sup>されることが当たり前になっており、自分たちが付和雷同の生き方をしていることについて、一抹の不安も抱かない傾向にある。
- ②細かい情報に価値があると信じて、具体的思考に支配されて生き続けてきた年寄りこそ、実は抽象的思考の重要性を最もよく理解している人物である。
- ③現代において、正しい情報入手することはきわめて困難であるが、犠牲的精神を持つ人々の手によって、わずかながらも有料の情報が発信されている。
- ④抽象的思考は物事を前に進めるための原動力であるため、そうした思考の重要性をよく認識し、流行や目先のことに縛られずに生きていくのが望ましい。